

月刊

通巻

632

2025年5月

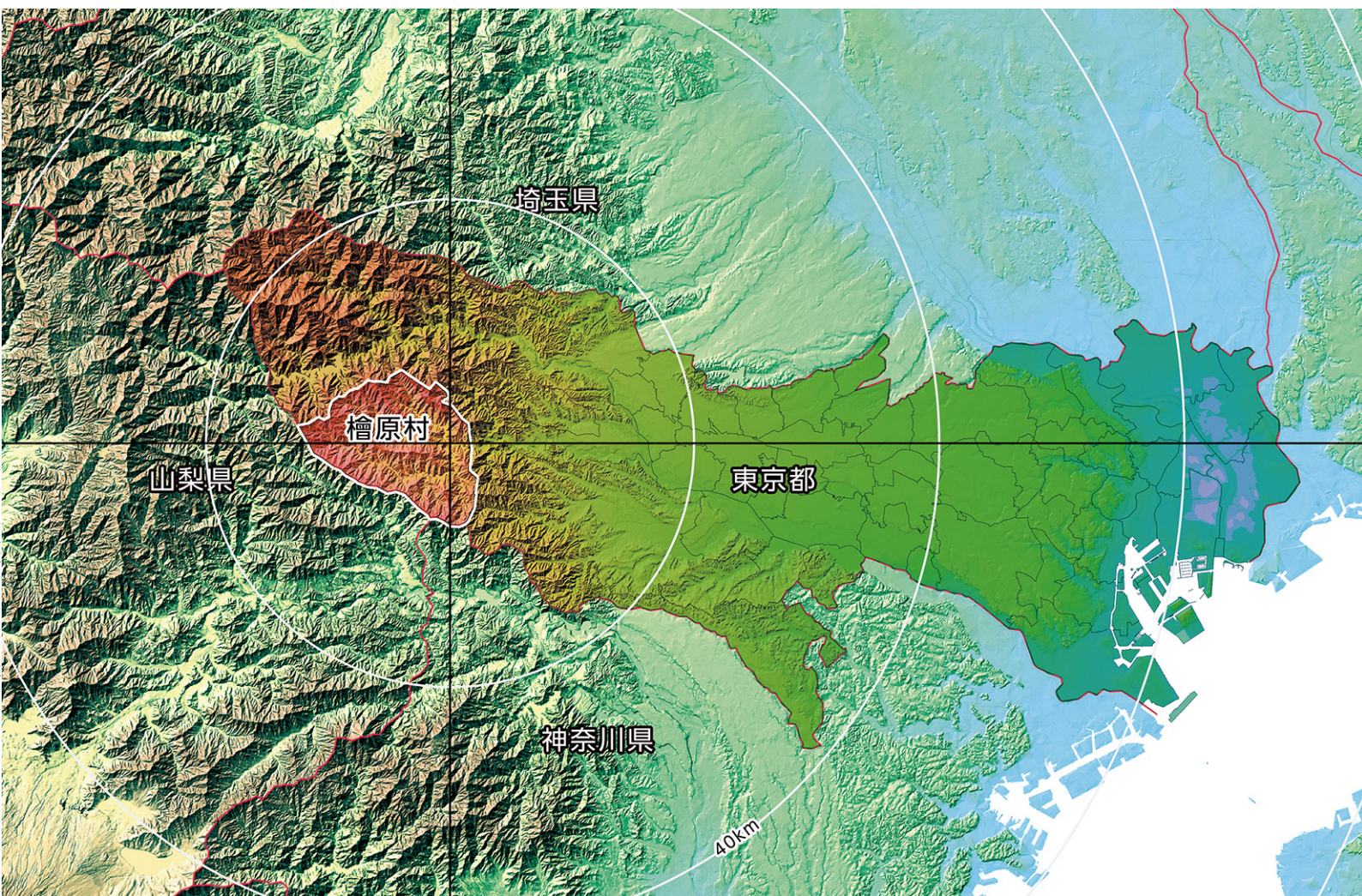
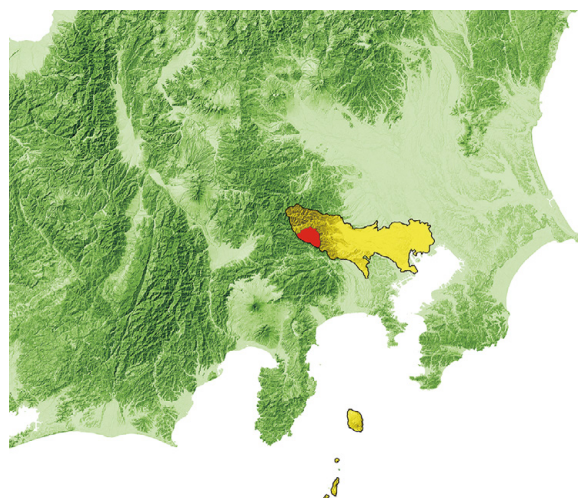
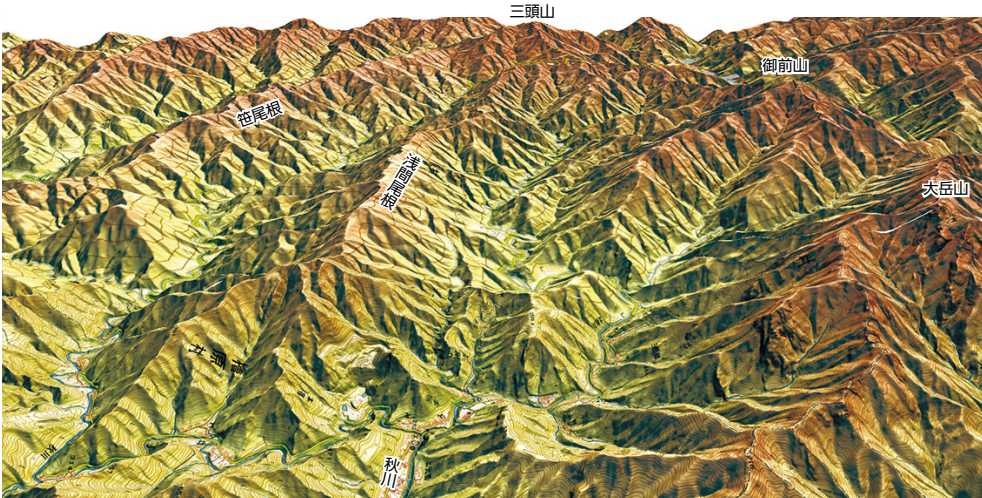
300



地図と学ぶ

地図中心

特集 東京都檜原村時代街道



南北秋川をつなぐ橋樑今昔	高平 和巳／独活 章	3
檜原村イラストマップ	櫻井 こずえ	4
檜原村全図	編集室	6
檜原村の山々から見た富士	樋口 淳雄	8
三頭山の登山サイト	田野倉 勝則	10
小沢夏地逆さ川の謎	平塚 傳／鈴木 肇	11
中之平遺跡	吉野 富永／独活 章	12
茗荷平集落 幻の木地師集団	小林 茂雄／独活 章	13
織物養蚕の機立 柏木野地区	幡野 昭和／独活 章	14
「人里」を「へんぼり」と読む集落	中村 興司／独活 章	15
小岩の橋高安	土屋 貞美／独活 章	16
小岩 王子が城の為定館	土屋 貞美／独活 章	17
蔵王権現の大嶽神社と大口真神	吉野 高明／吉野 富永	18
人里の和田七軒伝説	吉本 昂二／独活 章	20
上元郷の吉野對馬守	吉野 一成／独活 章	21
人里の高橋寺岐守	高橋 亨・吉川 洋／独活 章	22
延元の時を刻む数馬の殿様	中村 昭則／独活 章	23
茗荷平皇大神宮の謎	田倉 信子・吉川 洋／独活 章	24
皇大神宮と座敷童子	岡部 敬祐／独活 章	25
武田松姫伝説	吉本 昂二／独活 章	26
平山氏重と横地監物物語	高平 和巳／独活 章	27
口留番所取締 吉野九郎右衛門	吉野 一成／独活 章	28
東京都で唯一の風穴＝柏木野の檜原風穴	宇田 快／清水 長正	29
シルクロードの嫁取り坂	市川 健治／独活 章	30
檜原村医療・介護の今昔	中村 興司 他／廣石 裕子	31
秋川源流「不老の水」伝説	岡部 敬祐／独活 章	32
檜原村のブナ林と地質	小泉 武栄	34

【連載】

《地図心中 復活版 38》絵解きー 35 各地に残るモノたち	高橋 美江	36
《日本百名山が見える鉄道 見えた鉄道 22》十勝岳が見える富良野線、幌尻岳が見えた広尾線	清水 長正	38
《歴史舞台地図追跡 95》江戸・東京をめぐる虚像と実像（其の廿捌）	谷口 榮	40
《地図を片手に大地を駆ける 89》奥武蔵マウンテンオリエンテーリング 2025	柳下 大	42
《ペクター地歴地図孤軍奮闘記 62》疫病と対峙する歴史情報地図	小島 豊美	44
《地図づくり最前線 025》全国の流域を3D地図上に可視化した「YAMAP 流域地図」	片岡 義明	46
《地図教育の道しる 37》“地域を診る目”を養う、地理総合の授業実践例	後藤 賢	48
新刊地形図案内 50 / 今月新刊の見どころ！・日本地図センター便り 51 / 編集後記・次号予告 52		

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

1冊 880円（税込）

地図倶楽部

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読 1年間 12冊

プレミアム会員

6,600円（税・送料込）

プレミアム会員（シニア）満65歳以上

5,500円（税・送料込）

◆電子版のみの購読会員（紙版は送付されません）

地図倶楽部会員	会費（税込）	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員（シニア）	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局
map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

《表紙》

東京都檜原村位置図・東から見た檜原村鳥瞰図
（地理院地図データを使用して作成）

◆檜原村の概要◆

位置：東京都の西に位置し、一部を神奈川県と山梨県に接している。（表紙地図参照）

面積：105.41km²（東京都では3番目に広い。※島しょ部を除く）

●世帯と人口（2025〔令和7〕年3月1日現在）
世帯数：1,102世帯
人口：1,917人（男 957人：女 960人）

好評
発売中

地図地理検定(専門) 過去問集50

◆ 過去13回分の出題から50題を精選

◆ 4つの分野と記述式問題に詳しい解説

得点力アップにつながる情報を読んで、類題に挑戦して「**地図地理力博士**」を目指そう!!

「地理総合」「地理探究」スタート

私も推薦します!



地図大使 石原良純さん



A4版・96ページ／1,430円（税込）

2023年4月15日発行

南北秋川をつなぐ橋橋今昔

檜原村は東京都の島嶼部を除き、本州における唯一の村です。メトロポリスとは名ばかりで、多摩地域の最西部にあたり、都内 23 区とほぼ同じ面積を擁する檜原村の総面積の約 93% が森林という絵に描いたような山村なのです。前後左右上下、どこを向いても顔を擦るような険しい地形では自給自足の作物栽培が精一杯で、産業といえばほとんどが林業、炭焼き、そして近代になって養蚕が加わった程度でした。従ってここも例外なく、過疎や少子高齢化の深刻な波を受けています。

こうした山間地形の多くの集落がそうであるように、この檜原村も例外なく各時代に住み着いた落人たちの里としての形態が今に伝わります。追討から逃れて隠れ棲む落人の

里として安全を保つ恰好の条件だったのででしょう。

ただ同じ落人の里ではあっても檜原村の場合、他の多くの地域とは少しばかり様相が異なります。それはここが単なる落武者たちの吹き溜まりとは異なり縄文、弥生、奈良、平安、鎌倉、室町、戦国、江戸、そして近代に至るまで、それぞれの時代に見られる侵略による大掛かりな殺戮の痕跡などはほとんどなく、むしろ運命共同体のような異種共存が成り立っていたことです。

かつて栄華を極めたであろう各時代の先達たちが山深い地形の中に地名や人名、あるいは言い伝えとして、それぞれの栄光の軌跡を後の世にしっかりと微しとして残していたことに、改めて驚嘆させられ、また感謝するものです。先達の残したそれらの微しを注意深く掘り起こせば、各時代の伝説や史跡がまるで絵物語のように各地域に甦ってきます。

そうした中で古人が現代の私たちに教えてくれるのは、それぞれの集落で暗黙の裡に残した共存共栄の極

伝承／執筆：
高平 和巳／独活 章

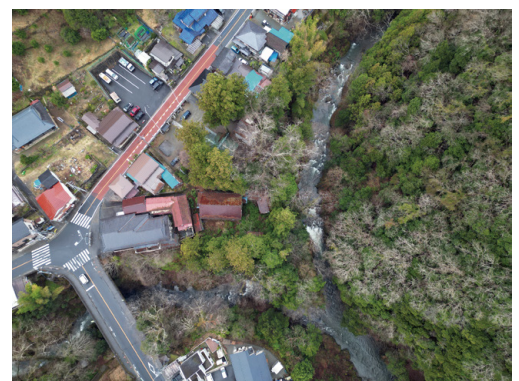


南北分校が合併した檜原小学校校歌の歌詞

意なのかもしれません。その微しが校歌として、今日の檜原村小学校に継がれていました。

「南と 北の 秋川が
流れを合わせる 手をつなぐ
水は なかよし 風も なかよし
まなびや檜原 あたたかく
いのちの歌が あふれるよ」

檜原村の山々を二分して流れる南北の秋川は、それぞれの時代に培われ、それぞれの地域で育まれた共存共栄による歴史・文化の微しを岩に刻みつつ、村の東部にある中心地・本宿の橋橋付近で合流。さらに秋川は五日市の町並みを抜け、阿伎留台地（秋留台地）を経て多摩川に合流、そして大海へと流れ出るのです。



檜原村を象徴する南北秋川の合流点（ドローン撮影）



『武蔵名勝図会』と同じ目線で撮影した現在の橋橋（ドローン撮影）



檜原村入口

文政 3 年 (1820) 『武蔵名勝図会』に載る「檜原村入口」。これを著した植田孟縉（もうしん）は八王子千人同心で、文政 5 年 (1822) に昌平坂学問所へ提出した『新編武蔵風土記稿』多摩郡の部に先立ち同書を脱稿した

高平 和巳／独活 章



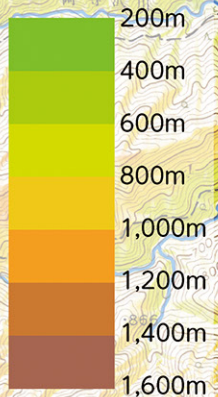
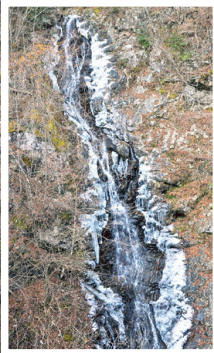
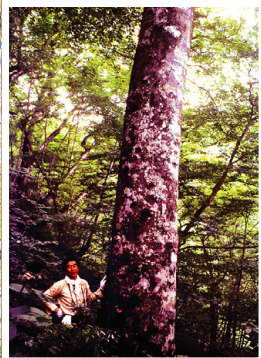
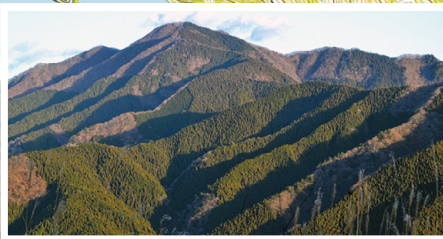
昭和 23 年生まれ、神奈川県横浜市出身。著述業。日本の、日本人の「宝物」を追って、日本列島を東奔西走。そこで観たものを小説やエッセイとして発表。檜原村には 38 年前に移住。筆名＝独活章。

撮影者：独活章／ドローン撮影：岡部敬祐

地図中心 2025 May 3

檜原村全図

編集室



0 2km

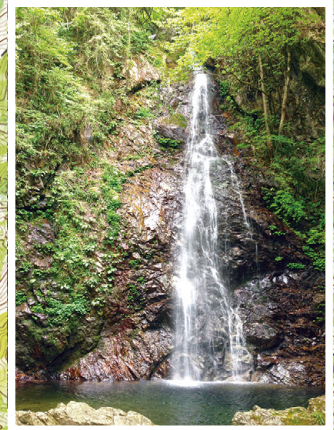
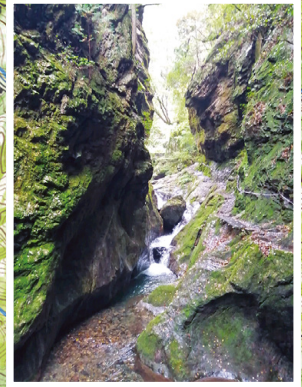
本図は、地理院地図 (Vector) より取得した段彩図に5万分1地形図「五日市」(平成9年修正)を重ねて作成しました。(河川を強調表示・注記一部加筆)

青梅市

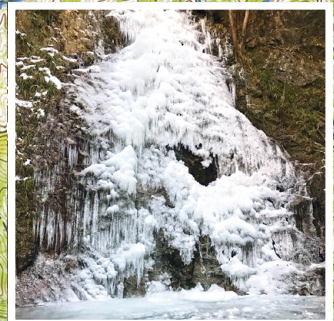
特集

東京都檜原村時代街道

日の出町



弘沢の滝(夏)



弘沢の滝(冬)

八王子市

要倉山

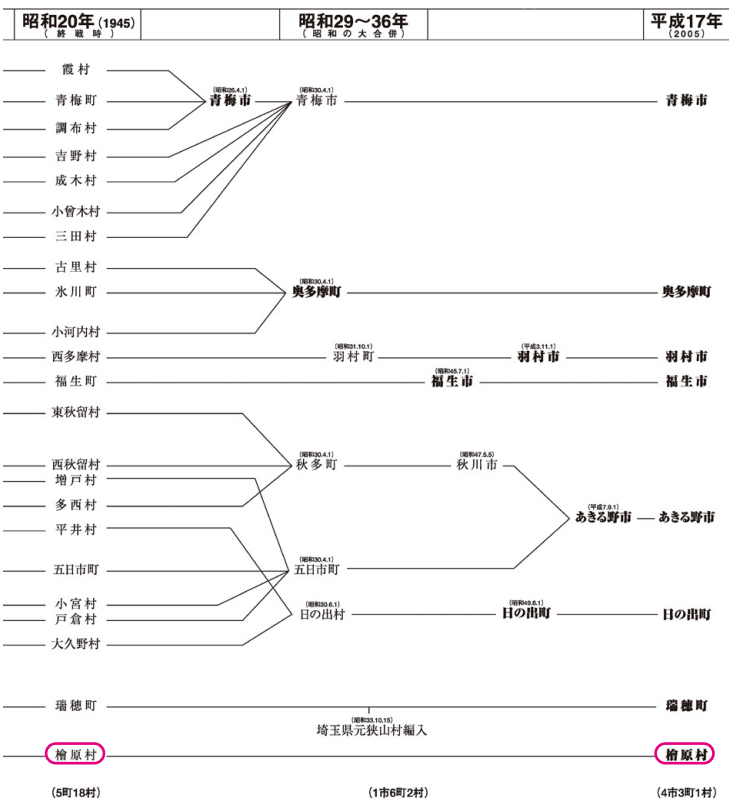
相模原市

檜原村

図 1. 現在の西多摩郡 基盤地図情報 [2025 年 4 月取得]



図 2. 西多摩郡自治体変遷一覧 (順不同、部分) 東京都市長会 Web



編集後記

檜原村は、東京都西多摩郡に属しています。現在の西多摩郡は、檜原村 (図 1・緑) と、瑞穂町・日の出町・奥多摩町の 3 町 (図 1・青) のみです。青梅市・福生市・あきる野市・羽村市 (図 1・黄) は、元・西多摩郡でした。

西多摩郡は、1878 (明治 11) 年の郡区町村編制法の施行により発足。発足当時、東多摩郡・西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡と東西南北がすべて揃っていました。ただし、東多摩郡は東京府でしたが、西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡は神奈川県でした。1893 (明治 26) 年に、西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡が東京府に移管されます。

自治体数は 1878 (明治 11) 年から現在まで数度の大合併を経て減少します。西多摩郡は、1878 (明治 11) 年の発足当時は、1 町 93 村。1893 (明治 26) 年・東京府移管時に、2 町 17 村 4 組合村。1945 (昭和 20) 年・終戦時に、5 町 18 村。1961 (昭和 36) 年・昭和の大合併によって、1 市 6 町 2 村。2005 (平成 17) 年・平成の大合併によって、4 市 3 町 1 村の現在の状態になりました。その間、檜原村はどことも合併すること無く現在に至りました (図 2)。

東京都西多摩郡檜原村は、独立不羈な村だったのです。
(編集長・小林政能)

次号予告 2025 年 6 月 通巻 633 号

毎月 10 日 発行

地図と学ぶ月刊

地図中心 総特集

国界と県境と

旧国と旧国、都府県と都府県。その間には、地図に描かれた見える線と、見えない歴史があります。時代とともに変わりゆく旧国の境＝国界と都府県境、三国界であり三県境にたたずむ山、伊能図から現代の地勢図まで、さまざまな「境界」のかたちを読み解きます。地図で境界の旅に出かけましょう。



バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています! 03-3485-5417 (事務局)

地図中心 2025 - 5 通巻 632 号

発行 2025 年 5 月 10 日

発行所 一般財団法人日本地図センター

〒153-8522

東京都目黒区青葉台 4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(月刊「地図中心」編集室)

メール chushin@jmc.or.jp

URL https://www.jmc.or.jp

©一般財団法人日本地図センター

定価 880 円 (税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。

2025 年 4 月号 (通巻 631) で、誤りがありました。

訂正して、お詫び申し上げます。

P. 4、左段、「水準点物語 I」16 行目:

(誤) 三角課長 → (正) 三角科長

雑誌 86689-05



4910866890553
00800